

家庭教育アドバイザー 履修方法

開設授業科目	単位数	履修方法等
カウンセリング(演習)(乳幼児と母親)	2	左の科目から2科目4単位選択履修
カウンセリング(演習)(小学生と親)	2	
カウンセリング(演習)(理論と方法)	2	
カウンセリング(演習)(面接技法Ⅰ)	2	
カウンセリング(演習)(面接技法Ⅱ)	2	
教育カウンセリング(演習)	2	
(保育期対象)別表第2-1に掲げる科目	14	アドバイザーの対象(保育期、児童期、青年期、学校教育と家庭教育の連携)に応じて、左から、一つ以上の対象を選択履修
(児童期対象)別表第2-2に掲げる科目	14	
(青年期対象)別表第2-3に掲げる科目	14	
(学校教育と家庭教育の連携対象)別表第2-4に掲げる科目	14	
備考 この表は、家庭教育アドバイザー資格を取得するために修得すべき授業科目及び単位数を掲げたものである。履修に際しては、アドバイザーの対象に応じて、別表第2-1、別表第2-2、別表第2-3、及び別表第2-4に従うものとする。尚、いずれも家庭教育専攻専門科目46単位以上を修得し、本学の卒業要件を満たしていることが必要である。		

家庭教育アドバイザー(保育期アドバイザー)

開設授業科目	単位数	履修方法等
カウンセリング(演習)(乳幼児と母親)	2	左の科目から2科目4単位選択
カウンセリング(演習)(小学生と親)	2	
カウンセリング(演習)(理論と方法)	2	
カウンセリング(演習)(面接技法Ⅰ)	2	
カウンセリング(演習)(面接技法Ⅱ)	2	
教育カウンセリング(演習)	2	
乳幼児のしつけ(演習)	2	左の科目から7科目14単位選択
胎児と環境	2	
乳幼児の食生活	2	
乳幼児の身体運動と情操教育(演習)	2	
育児国際比較論	2	
幼児教育思想史	2	
小児期の心身・精神医学入門	2	
親子の信頼関係	2	
障害児と家庭教育	2	
障害児の教育と特別支援	2	
備考 この表は、保育期の子どもの家庭教育にかかわる家庭教育アドバイザーの資格を取得するために修得すべき授業科目及び単位数を掲げたものである。尚、家庭教育専攻専門科目46単位以上を修得し、本学の卒業要件を満たしていることが必要である。		

家庭教育アドバイザー(児童期アドバイザー)

開設授業科目	単位数	履修方法等
カウンセリング(演習)(乳幼児と母親)	2	左の科目から2科目4単位選択
カウンセリング(演習)(小学生と親)	2	
カウンセリング(演習)(理論と方法)	2	
カウンセリング(演習)(面接技法Ⅰ)	2	
カウンセリング(演習)(面接技法Ⅱ)	2	
教育カウンセリング(演習)	2	
生命尊重と家庭教育	2	左の科目から7科目14単位選択
自律の精神と家庭教育	2	
礼儀と家庭教育	2	
宗教的心情の育成と家庭	2	
伝統社会の児童教育論	2	
体験と心の育ち	2	
地域社会との連繫	2	
働く意欲の探求	2	
児童期の発達と心理	2	
児童期の発達と親の対応	2	
児童期の発達と身体運動論	2	
キャンプ活動の指導論	2	
レクリエーション活動の指導論	2	
備考 この表は、児童期の子どもの家庭教育にかかわる家庭教育アドバイザーの資格を取得するために修得すべき授業科目及び単位数を掲げたものである。尚、家庭教育専攻専門科目46単位以上を修得し、本学の卒業要件を満たしていることが必要である。		

家庭教育アドバイザー(青年期アドバイザー)

開設授業科目	単位数	履修方法等
カウンセリング(演習)(乳幼児と母親)	2	左の科目から2科目4単位選択
カウンセリング(演習)(小学生と親)	2	
カウンセリング(演習)(理論と方法)	2	
カウンセリング(演習)(面接技法Ⅰ)	2	
カウンセリング(演習)(面接技法Ⅱ)	2	
教育カウンセリング(演習)	2	
情報化社会と情報の選択	2	左の科目から7科目14単位選択
言語生活と社会	2	
善悪の判断形成と家庭教育(演習)	2	
人生と生きがい論	2	
規範意識の育成	2	
正義感の育成	2	
徳の倫理	2	
道徳教育の研究	2	
個性尊重と創造性の育成	2	
公共精神の育成(演習)	2	
青年期の体験活動育成(演習)	2	
青年期の身体運動	2	
中高生の武道スポーツと人間形成(演習)	2	
備考 この表は、青年期の子どもの家庭教育にかかわる家庭教育アドバイザーの資格を取得するために修得すべき授業科目及び単位数を掲げたものである。尚、家庭教育専攻専門科目46単位以上を修得し、本学の卒業要件を満たしていることが必要である。		

家庭教育アドバイザー(スクールアドバイザー)(学校教育と家庭教育の連携)

開設授業科目	単位数	履修方法等
カウンセリング(演習)(乳幼児と母親)	2	左の科目から2科目4単位選択
カウンセリング(演習)(小学生と親)	2	
カウンセリング(演習)(理論と方法)	2	
カウンセリング(演習)(面接技法Ⅰ)	2	
カウンセリング(演習)(面接技法Ⅱ)	2	
教育カウンセリング(演習)	2	
ケーススタディ(演習)「幼児の体罰と虐待」	2	左の科目から7科目14単位選択
ケーススタディ(演習)「小学生の問題行動の実態と対応」	2	
ケーススタディ(演習)「小学生の不登校」	2	
ケーススタディ(演習)「中学生の不登校と生活環境」	2	
ケーススタディ(演習)「中学生非行の前兆と対応」	2	
ケーススタディ(演習)「高校生非行の実態と要因分析」	2	
ケーススタディ(演習)「青年期のドロップアウト」	2	
保育園・幼稚園教育と家庭教育概論	2	
初等教育と家庭教育概論	2	
中等教育と家庭教育概論	2	
備考 この表は、学校教育と家庭教育の連携にかかわる家庭教育アドバイザーの資格を取得するために修得すべき授業科目及び単位数を掲げたものである。尚、家庭教育専攻専門科目46単位以上を修得し、本学の卒業要件を満たしていることが必要である。		